

2018年スーパー耐久 第2戦 スポーツランドSUGO
Racingline PERFORMANCE GOLF TCR

2018/5/6

トップを独走もトラブルによりリタイヤ**<練習>**

今回、SUGO戦に向けて、セットアップを大幅に変更しレースウィークに臨んだ。

マシンは走り出しから非常に調子が良く、セットアップも少しダンパーの減衰を触った程度で、ほぼ持ち込みセットのまま予選シミュレーションと決勝用ロングランを行う事が出来た。

Philippe選手、密山選手ともにマシンに好感触を得る事が出来、自信を持って予選に準備を進めた。

<予選>

前日の予選シミュレーションで得たタイヤウォームアップのイメージを持って予選に挑んだ。

Aドライバー予選を担当したPhilippe選手は計測1周目からアグレッシブなアタックを披露。3コーナーでアウトにはらむシーンもあったが、見事週末の自己ベストである1:29:994でクラス3位を獲得。続く密山選手は計測2周目、3周目にアタック。最初のアタックで1:29:119をマークし、次の周に期待が持てたが、トラフィックに引っ掛かりタイム更新ならず。今回はPhilippe選手の好走もあり、3番グリッドを獲得する事が出来た。

<決勝>

今回は3時間と耐久にしては短いレース。レースレギュレーションとして、2回のピットインと2回のドライバー交代が義務付けられている。チームは、①Philippe選手②密山選手③Philippe選手という戦略をたてた。今期から導入されたFCY(フルコースイエロー)が出る事を予想し、1回目のFCYが出たらすぐにドライバー交代を行い②、③ステントを引っ張りゴールを目指す作戦。レースがスタートし、20分位で予想通りFCYが出たので、すぐにピットインし密山選手に交代。密山選手のペースは非常に良く、ピットインでクラス最後尾に落ちながらも前を行く車両を殆どオーバーテイクし1位に躍り出る。2位に25秒ほどのマージンを作り最後のピットインを行う予定だったが、途中からトランスミッションが非常に高温になり、ギア鳴りとオイル臭が酷くなったので緊急ピットイン。メカニックの判断により残念ながら、そこでリタイヤとなった。原因は現在究明中だが、次戦の富士24時間レースではこのトラブルが出ないよう、完璧なメンテナンスを行って、今回の雪辱を晴らす。

次戦の24時間レースは、Philippe選手、密山選手に加え、脇阪寿一選手、遠藤光博選手が加入し昨年同様に優勝を目指します。皆様の多大なるご声援を何卒、宜しくお願い申し上げます。

今回も、誠に有難うございました！！

